

## 理学部 （化学生物環境学科 生物科学コース）

### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

#### 【前提となる教育理念】

生物科学コースでは、生物科学を中心とした自然科学に関する正しい知識や論理的思考能力、高いコミュニケーション能力をもち、社会の健全な発展に主体的に関わることのできる人材を育成します。そのために、基礎的内容から応用分野までの幅広い教育および実践的な研究活動を通して、以下に示す能力を涵養します。

#### 【身につけるべき力】

- ・生物科学を中心とした自然科学の幅広い分野にわたる正確な知識を基に、論理的・創造的に思考する能力
- ・様々な問題を自ら発見し、その解決に取り組むことができる主体性と実践力
- ・科学的な知識や思考能力を社会の中で役立てるために必要なコミュニケーション能力

#### 【学位授与の要件】

本コースで定められたカリキュラムを履修し、所定の単位を修め、上記のような能力を修得したと認められた学生に対し、学士（理学）の学位を授与します。

### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

#### 【カリキュラム構成の基本方針】

生物科学コースのカリキュラムは、分子から生態系におよぶ生物科学の諸分野はもちろん、化学や環境科学、科学英語など関連分野も視野に入れた、バランスの取れた構成となっています。また、様々な科目の学年配置は、次第に内容が高度化・専門化するよう、かつ、少人数・選択性の実践的科目が多くなるように工夫されており、幅広く基礎を固めた上で無理なく専門性を高めることができるようになっています。

#### 【教育の内容と方法】

1 年次・2 年次には生物科学コースの学生全員が受講する基礎的な授業科目を設け、生物科学や、科学英語を含む、その周辺のさまざまな学問分野にわたる基礎的な知識を幅広く修得できるようにしています。2 年次以降は学生それぞれの興味・目的に応じて選択受講できる発展的な授業科目を徐々に増やしています。3 年次になると特に少人数・選択性の講義・実習や英語を含む演習が多数用意されており、本コースのもつ研究上の特徴を活かした専門教育が受けられるようになっています。4 年次には卒業研究あるいは課題研究を履修し、実践的な研究を体験することができます。以上のような基礎から発展までの全教育課程を通じて、学生が自ら学び、考える力を身につけられるよう、自発的・能動的取り組みを重視した教育を行っています。

## 【学修成果の評価】

学修成果の評価は、科目に応じて筆記試験、レポート、発表などにより行います。

## 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

### 【教育理念】

生物科学コースでは、生物科学を中心とした自然科学に関する正しい知識を身につけ、論理的な思考能力と高いコミュニケーション能力をもって、社会の健全な発展に主体的・協動的に関わることのできる人材の育成を目指しています。

### 【求める学生像】

生物科学コースでは、上記の教育理念を十分に理解した上で、本コースで得られる自然科学の知識や能力を将来、医学、食品化学、製薬、環境科学などの諸分野で活かしたいという情熱と意欲のある学生を望んでいます。入学時までには、以下のような能力を身につけておくことを希望します。

- 高校卒業レベルの数学、理科の能力。特に理科については、物理・化学・生物・地学の中から少なくとも2科目を深く学習していること
- 現代の自然科学を学修するうえで必要な英語の能力
- 大学における教育を受けるために必要なレベルの言語的コミュニケーション能力